

# 災害トイレの種類と考え方

「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」では、様々な種類の災害トイレが紹介されています。ライフラインの被災状況や設置場場所、メリットなどを考慮し既設トイレもとも**組み合わせ**て対応することが**重要**です。

	携帯トイレ	簡易トイレ	仮設トイレ	マンホール トイレ	その他のトイレ		
					自己処理型トイレ	車載トイレ	便槽貯留
							水洗  便槽貯留
使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のトイレに便袋をセットして使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バケツや便袋で汚物をうける</li> <li>ポータブルタイプ、組み立て式などがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外に設置し、電気なしでも使えるものが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道のマンホール等の上に便器や仕切り等を設置して使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理装置を備えたトイレ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレ設備を備えた車両</li> <li>し尿を貯留するタイプと処理装置を備えたタイプあり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平時は、水洗、災害時は貯留式トイレとして使用する</li> </ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的安価でかつ少ないスペースで保管可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの無い場所でも使える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の確保がしやすい</li> <li>プライバシーが保てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接汚物を流せるので衛生的に使用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚水を排水せず使える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用しやすい場所に設置することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフライン復旧後、水洗といれへ戻せる</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済み便袋の保管、処理法が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚物処理方法が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外設置のため、天候に使い勝手が作用する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>設備が大掛りになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路が寸断された場合、届かない名合あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯留量に早稲使用量が制限される</li> </ul>

「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」平成28年4月 内閣府(防災担当)を基にTOTOが作成



問い合わせ先 公益社団法人 建築家協会関東甲信越支部 千葉地域会

Tel.043-225-7881 Fax.043-227-7867

# 被災生活者の声に応える災害対応トイレは継続的に使えるトイレ

災害時、被災規模や状況はさまざまです。一時しのぎではなく、発災～長期避難生活まで継続的に使い続けられるトイレの準備が重要です。**既設トイレを洋式化＋ユニバーサルデザイン**にしておけば、**最悪のライフライン状況でも使い続けることができます。**

## ■大規模地震発生時の避難所トイレモデル

避難所状況	課題・提案
<b>発災直後～3日</b>  上水道 下水道 流通	便器洗浄不可対策 簡易トイレの組立て プライバシーの確保  <b>既設トイレに携帯トイレセットでの対応</b>
<b>1週間後</b>  上水道 下水道 流通 ※但し、マンホールトイレ使用可	夜間、天候不順時の安全確保 汲み取り時期、使用頻度の算出 仮設トイレのB F化  <b>既設トイレの活用継続</b>
<b>2週間後</b>  上水道 下水道 流通	上記課題継続 便器洗浄水の確保 既存トイレの衛生性、快適性確保  <b>既存トイレでの汲み水対応</b>
<b>1ヶ月後</b>  上水道 下水道 流通	避難者数に対するトイレ数の不足 日常生活に近い状況での快適性  <b>快適な既存トイレの事前準備</b>



出典：避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン  
 (平成28年4月 内閣府 防災担当)を参考にTOTOにて作成



問い合わせ先 公益社団法人 建築家協会関東甲信越支部 千葉地域会

Tel.043-225-7881 Fax.043-227-7867

# 避難所トイレ・BCP対応トイレのおすすめ器具

## <大便器コーナー>

- ・新洗浄システム「フラッシュタンク式」で **4.8L洗浄・連続洗浄** を実現
- ・通常時はウォシュレット付属のリモコンで腰をかかめず快適。 **停電時はタンク横レバーで洗浄可能**
- ・奥行きが700mmと **コンパクト** なので、狭い和式からの改修に最適
- ・詰まっても早期復旧が可能な **掃除口付** も品揃え



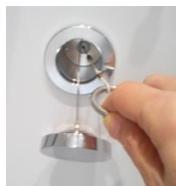
CFS497BC(掃除口付)



ピュアレストQR(CS230系)との比較

## <多機能トイレ>

- ・多機能トイレに必要な **器具類をパッケージ**
- ・コンパクト設計のため、小規模リモデルに最適
- ・ **停電時洗浄レバー付き**



大便器・汚物流し横の丸い銀色のキャップを外し、中にあるリングを引っ張ると停電時でも洗浄可能。

## <小便器コーナー>

- ・センサー自動洗浄タイプで、**非接触** 感染対策に◎
- ・電源不要の **発電タイプ** は停電時も使用可能
- ・新尿石抑制、節水システムを搭載。シンプルデザインと **節水性能** を両立した壁掛け低リップタイプ



UFS900R

発電のしくみ



新尿石抑制・節水システムにより大幅節水(平均洗浄水量:1.2L/回)  
「ターバ」排水管洗浄により尿石の付着を抑制し、排水管をよりきれいに長持ちさせます。

## <洗面コーナー>

- ・水栓は、**非接触** で感染対策に◎
- ・電源不要の **発電タイプ** は停電時も使用可能
- ・洗面器は、シンプルなデザインで水じまいがよく **清掃しやすい** 壁掛け洗面器

<コンパクトタイプ>



LS125系

<ゆったり使えるタイプ>



LS135系

## <お問合せは>

TOTO(株) 東関東支社 市場開発課 工藤 正彦

e-mail: [masahiko.kudo@jp.toto.com](mailto:masahiko.kudo@jp.toto.com) tel:0570-023-301 fax:043-206-1042



問い合わせ先 公益社団法人 建築家協会関東甲信越支部 千葉地域会

Tel.043-225-7881 Fax.043-227-7867